

第1回 令和プロテクト・トーク「消防関係機関と市長の対話」

要約

日時：令和5年7月24日（月） 18：00～19：15

場所：薩摩川内市役所 本庁5階 501会議室

出席者：消防関係4機関（19名）

- 薩摩川内市市：田中市長・上戸市民安全部長・遠矢市民安全部次長
- 薩摩川内市消防局：石原消防局長・濱田警防課長・事務局2名
- 薩摩川内市消防団：小牧消防団長・宮里団本部副団長・石塚中央大隊長
山本西部大隊長・西東部大隊長・平嶺上甌大隊長・下野下甌大隊長
山ノ内団本部本部員・中満活動活性化等委員長
- 消防後援会連合会：下園会長・加治屋副会長・外菌事務局長

■あいさつ 田中市長

令和5年度になり、少しずつ皆さんとも顔の見える、対面での対話が出来ようになった。

4月23日には消防団の各分団長の皆さんと意見交換をさせていただいた。各分団長からは消防団の組織と定数の見直しについて、トークでも出ていたことが具体的に出されていた。

消防団員の確保については、引き続き声を掛け合いながら、現在の定数を満たすよう性別、年齢を問わず入団していただけるよう、皆さんと一緒に対策を取りたいと考えている。

■協議 座長：田中市長

1 令和4年度のトーク活動実績及び令和5年度の予定について

昨年度の活動実績と今年度のトーク開催予定について情報共有を図った。

※今年度はトークを年2回開催する

2 令和5年度の取組みについて

昨年度のトークにおいて、高齢化の進展や、若者がいない現状があるため、地域の実状に合った定数の見直しや分団の統廃合について検討の必要があるとの意見が出され、これを受けて、今年度は「集中的に消防団の組織再編をテーマに取り組む」こととなった。

【各機関の意見及び取組みについて】



薩摩川内市消防団

小牧団長・宮里副団長及び各大隊長

- ・今年度は団員募集を引き続き行う。
- ・本土地域及び甌島地域のいずれにおいても過疎化が進み、高齢化や若者の減少により団員のなり手がいない地域がある。
- ・ある地域においては人口も、消防団員も少ないが地区コミュニティ組織があり、消防団車庫詰所もある。有事の際に掛け付けるまで30分は要するが、初期消火は消防団と地域で対応するので、部を無くさないで欲しいとの意見もある。
- ・今回、各分団部の現状を把握するため、消防局と合同で分団を回り、団員の生の声を聞きたいと考えている。



薩摩川内市消防局

石原消防局長

消防局は、地域の実状や各種データと照合しながら、消防団幹部会議等において議論を重ねる。

組織再編の草案を作成するため、消防団長と各分団の現状把握のための聞き取りを行い、また、地域の皆様の声を聞きながら消防団の組織、体制の見直しを行っていききたい。



消防後援会連合会

下園消防後援会連合会長

消防後援会は、消防団を支援していく姿勢に変わりはない。後援会の総会でも少子高齢化で消防団員のなり手がいないという意見が出ている。

私も分団長をしていたが、当時と比べると団員数が定数に満たないぐらい減少しており、これらを早い時期に把握しなければならない。

消防団はもっともっと地域と仲良くし、団幹部は元団員ですので、末端の団員までの意見を聞いて、消防団がなくならないよう、消防後援会としても地元消防団と協力していきたい。



薩摩川内市

上戸市民安全部長

地域によって考え方も違うと受け取った。消防団の考え方を尊重しながら、方向性として再編に取り組まなければならないし、状況把握をさせていただく。

市民課の広報用モニター等を活用しながら、消防団員募集のPR活動に力を入れていきたい。

座長

再編の方向性について、次回のトークで草案を示していただきたい。その前段で市議会や所管の委員会にも丁寧に方向性や考え方、スケジュール案について説明しなければならない。

市民生活や生命財産に直結する大きな問題である。今日を機に、消防局を中心に消防団と後援会とも緻密に意見交換をしていただきたい。

3 その他

下園後援会長

学生団員について、現在、純心大学も男女共学となった。ポリテクカレッジもあるので是非、勧誘を行っていただきたい。

座長

団員の報酬額の明示、年額報酬、出場報酬、あと活動の従事時間等については、今後、数字で明示して勧誘することが必要だと思っている。

これまでは、ただやる気だけで団員になって来た経緯があるが、今の若い世代にはそういった部分が大事だと改めて思った。

■協議集約

座長

組織再編は、消防団員を減らすことが目的ではなく、持続可能な体制を作る中で、団員不足を解消していかなければならない。

4月に参加した消防団との意見交換会で、出場報酬の件も出た関係上、やはり、報酬の値上げ、改訂を含めて消防団の処遇改善が必要ではないかとの考えを持っている。

全体的に人材確保については思い切った予算措置も検討しながら、市議会にも説明し、少しでも消防団に勧誘しやすいよう議論をして参りたい。



市長あいさつ



トークの様子